

徳島市の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	徳島ガラススタジオ		
指定管理者	徳島市文化振興公社	担当課	文化スポーツ振興課
指定期間	R2.4.1～R7.3.31	公募・非公募の別	公募
施設の所在地	徳島市勝占町中須78番地の4		
施設の概要	開館時間 9:00～17:00 休館日 12月29日～1月3日 展示フロア、吹き場、工作室	事業の概要	徳島ガラススタジオの管理運営業務 ・設備貸出業務 ・設備等の保守・点検業務 ・ガラスワークショップ開催 ・ガラス工芸体験開催 ・自主事業(セミナー・ミニワークショップ・材料頒布)

	項目名	令和4年度	令和5年度	項目名	令和4年度	令和5年度
利用状況に関する こと	来館者数	7,281人	6,840人	自主事業参加件数	427件	1,038件
	設備利用件数	450件	368件	事業開催数	34回	68回
	受講者数	3,426人	3,423人			
	体験件数	1,450件	1,207件			
収支状況に関する こと	指定管理料	17,102千円	17,102千円	人件費	千円	千円
	利用料収入	623千円	526千円	管理費	26,779千円	27,448千円
	その他収入	9,645千円	9,803千円	その他	千円	千円
	収入実績(総額)	27,370千円	27,431千円	支出実績(総額)	26,779千円	27,448千円

評価基準・評価項目	指定管理者自己評価コメント	担当課評価
施設管理体制 (1) 法令等遵守 (2) 職員配置 (3) 職員研修 (4) 利用促進の取組み (5) 設備・備品管理 (6) 安全管理体制 (7) 緊急時の体制	法令・徳島市条例・指定管理の要求水準書などを遵守し、安心・安全な施設管理運営ができています。職員配置について、適切な人員を配置している。また、施設内の設備状況やワークショップの内容等について、随時情報共有し、よりよいワークショップ開催のために意見を出し合っている。施設の特性上、防火管理者の有資格者を配置している。 利用促進の取組みとして、ガラススタジオ以外でのミニワークショップ、学校へのアウトリーチ活動、ふれあい健康館でのガラスアートフェスタなどを積極的に開催し、若い世代へのガラス工芸の普及に取り組んでいる。	A
利用者に関する 業務 (1) 利用状況 (2) 平等な利用 (3) 利用料金 (4) 接客対応 (5) 個人情報保護 (6) サービス向上の取組	ガラスワークショップについて、ガス代高騰により効率的な施設運営ため、やむなく夏の暑い時期に講座を開催した結果、受講者が減った。今後は、効率的な運営による経費節減と受講料収入の折り合いが付くよう、開催時期の設定を検討する。 ガラス体験において、県外や若い世代の利用促進のため、引き続きインターネット体験予約サイト「アソビュー」を活用しており、利便性の向上を図っている。	A
施設管理業務 (1) 保守点検業務 (2) 清掃等維持管理業務 (3) 修繕等維持管理	機器等設備の保守点検は全て予定どおり実施、施設の特性上、日常の職員の館内点検が非常に重要であるが、修繕が必要と思われる箇所を早期に発見し、緊急性が高いものから対応している。また、適切な清掃により、館内の衛生を保っている。	A
事業 (1) 企画運営事業 (2) 自主事業	ガラス作品への興味喚起のため実施したガラス市は大変好評だった。また、作品鑑賞の機会を増やす目的で移動ガラス作品展を開催して好評を得ている。	A
経理状況 (1) 施設収支状況 (2) 指定管理者経営状況 (3) 経費の縮減	経費の大部分を占める光熱費等の物価高騰により収支状況の悪化が懸念されたが、徳島市指定管理業務継続支援金があって、赤字幅を縮小させることができた。今後も燃料費を含め物価の高騰が予想されるため、利用者に影響を与えない程度に、引き続き効率的な管理運営を実施する。	A
評価基準	S:優れている(協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。) A:適正に管理されている(協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。) B:一部に改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。) C:多くに改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。)	

担当課総合評価コメント	総合評価
関係法令や条例などを遵守し、おおむね適正に管理運営が行われている。引き続き、利用者のサービス向上及び主に若い世代を対象にした新たな利用者の確保に努めてほしい。	A
総合評価基準 S:優れている(各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている(各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にCがある。)	